

減少、圧迫部位の腫脹などの症状があれば、クラッシュ症候群を考える。

【対応】

早期の血液透析やアシドーシスの治療をしないと生命の危険があるので、早期の専門医療機関の受診が必要。

9 急性循環不全

【病態と原因】

大量出血、脱水、心疾患（心不全・心筋梗塞・不整脈）、敗血症（肺炎・胆嚢炎・膀胱炎など）、腎不全、多臓器不全、クラッシュ症候群が原因で起こる。次のような症状を観察する。

- 脈が速く・弱くなる。
- 顔面が蒼白になる。
- 意識がもうろうとなる。
- 呼名反応などが鈍くなる。

【対応】

- ファウラー位をとる。
- 下肢の挙上を行う。
- 経口摂取が可能ならスポーツドリンクを飲ませる。
- 点滴や強心剤の投与ができる環境（医療機関）への搬送。
- 心停止になった場合は、心臓マッサージを行う。

避難所ナース・テクニック



電話などが不通の場合は、メモ・伝言・伝令で伝えることになります。

●救急要請するとき・搬送するときの伝達方法（申し送り項目表 → p.118）

- ・年代（分かれば年齢）
- ・乳児，幼児，子ども，若者，中年，高齢者
- ・性別
- ・妊産婦，新生児
- ・救急搬送を依頼する事態は：けが，急病，お産，透析，てんかん，その他
- ・現在の状態：意識がない，症状が重い，薬剤の効果が切れる，透析の時期に来ている，発作を起こしている，ショック状態，呼吸障害ありなど

【最低限伝えること】

- ・個人識別のための氏名と避難所の場所と名前.
- ・既往：糖尿病，心臓病，肝臓病，内臓疾患など.
- ・服薬状況：インスリン，ワーファリン，降圧薬，抗不整脈薬，抗けいれん薬，喘息治療薬など.